

◆斐伊川水系河川整備計画における整備順序の概略工程表

整備箇所	優先順位	主な整備内容	河川整備計画対象期間		
			短期	中期	
ダム・放水路 斐伊川 本川	(1)-①	尾原ダム・志津見ダムの建設 斐伊川放水路及び神戸川の河川整備	完成		
	(3)	堤防の整備 支川合流点処理			
		堤防強化対策			
	(3)	湖岸堤防の整備			
大橋川	(2)	狭窄部の拡幅（堤防の整備含む）	設計協議・用地買収・補償工事等		
		堤防の整備（計画最高水位まで） 水門等の整備	下流部拡幅工事	上流部拡幅工事	
		堤防の整備（計画堤防高まで）			
中海・境水道	(1)-②	湖岸堤防の整備	短期整備箇所 (I)	短中期整備箇所 (II①)	中期整備箇所 (II②)

※ 堤防の上面が道路として利用される場合には、段階的な堤防整備は実施せず、計画堤防高まで堤防の整備を実施する場合あり

※ 放水路への分流の取扱いについては出雲市等と調整

※斐伊川水系河川整備計画より抜粋

○整備実施後における効果

- 斐伊川本川、宍道湖、大橋川
整備計画で定めた河川・湖岸堤整備の実施後には、戦後最大の被害をもたらした
S47年7月洪水が再び発生した場合でも、家屋の浸水被害の発生を防止
- 中海
整備計画で定めた中海護岸堤整備の実施後には、既往最高水位（H15.9）に対し、
浸水被害の発生を防止

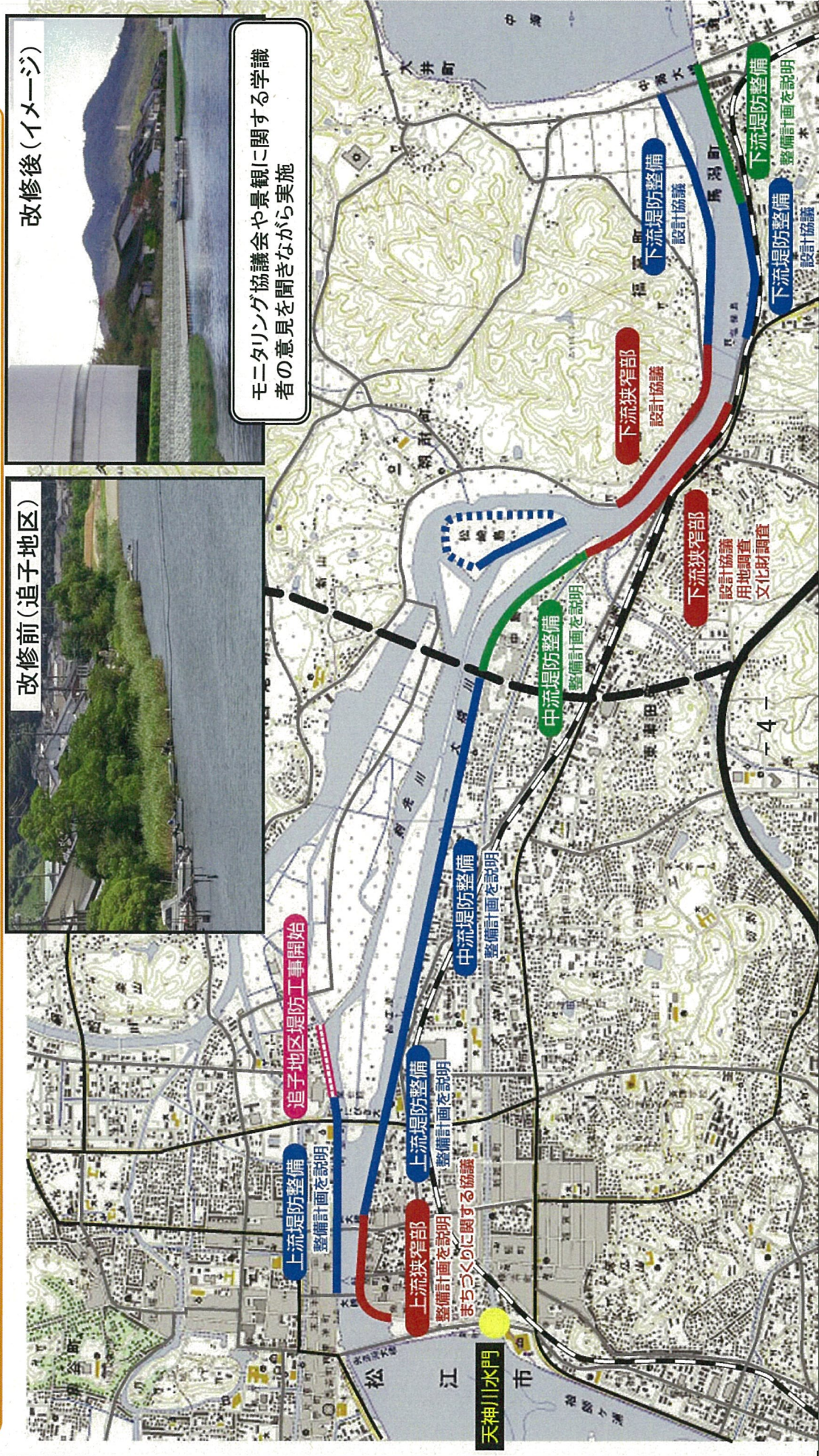
◆斐伊川水系河川整備計画で示した今後20年間の整備手順

■ 整備目標

戦後最大被害をもたらした昭和47年7月洪水が再び発生した場合でも、家屋浸水を防止する。

■ 整備順序

- ① 狭窄部の幅を最優先： 上下流の狭窄部の幅
- ② 築堤： 築堤は段階施工（計画高水位まで土堤→完成堤の順）



-29年ぶりに大橋川改修に着手

-「環境」、「景観」、「水面利用者」に留意

- ※環境モニタリング協議会
- ※松江市景観審議会、景観アドバイザー会議（今後、設置予定）
- ※工事安全対策調整会議

